

# 小学6年 算数 — 解答と解説

**1**

(1)	(2)
$6\frac{2}{3}$	$1\frac{1}{3}$
21	22

**2**

(1)	(2)	(3)
81 本	70	240 円
23	24	25

(4)
9 問
26

(5)
(式・考え方) (例)
$4 \times 4 \times 3.14 + 4 \times 2 \times 3.14 \times 6 + 5 \times 5 \times 3.14 \times \frac{4}{5} = 263.76 \text{ (cm}^2\text{)}$
(答え) 263.76 cm <sup>2</sup>
27

(配点)  
 ②(5)、③(3)…各10点  
 ④(2)、⑤(3)…各9点  
 他…各8点  
 ただし、③(1)……順同完全解答  
 計150点

**3**

(1)	(2)
5 : 4	10 m

(完答) 28 29

(3)
<p>(式・考え方) (例)</p> <p>⑤<math>\div</math>0.8=<math>(6\frac{1}{4})</math>……………A君の最後の25mでかかる時間</p> <p>(④+⑤)+<math>(6\frac{1}{4})</math>-⑤<math>\times</math>3=<math>(\frac{1}{4})</math>……………A君とB君のかかる時間の差</p> <p>①=<math>1\div\frac{1}{4}=4</math>(秒) なので、B君の速さは</p> <p><math>25\div(4\times 5)=1.25</math>(m/秒)。</p>
(答え) 毎秒 1.25 m

30

**4**

(1)	(2)	(3)
3 通り	30 通り	26 通り

31 32 33

**5**

(1)	(2)
14.13 cm	32.97 cm

34 35

**6**

(1)	(2)	(3)
24 cm	9	673 回

36 37 38

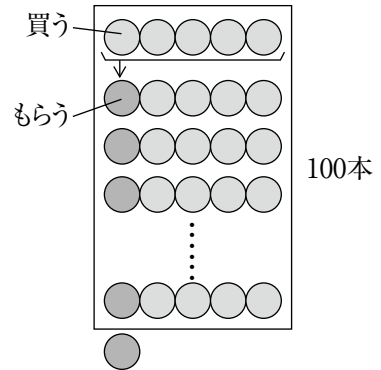
【解説】

- ② (1) 最初だけは5本買うことで1本もらいますが、その後はもらった1本と新たに買う4本でもう1本もらうことができます。

このことを整理すると右図のようになります。

$$100 \div 5 = 20 \text{ (組)} \quad \dots\dots 5 \text{ 本を一組としたときの組の数}$$

$$5 + 4 \times (20 - 1) = 81 \text{ (本)}$$



- (2) 4つの整数を小さい順にA、B、C、Dとすると、

$$A \times B = 192 \quad A \times C = 216 \quad A \times D = B \times C = 288$$

$$B \times D = 384 \quad C \times D = 432$$

となっていることがわかります。

$A \times B \times A \times C \div (B \times C) = A \times A$  となるので、 $A \times A$ の値は $192 \times 216 \div 288 = 144$ です。

$144 = 12 \times 12$ なので、 $A = 12$ とわかります。

$$B = 192 \div 12 = 16 \quad C = 216 \div 12 = 18 \quad D = 288 \div 12 = 24$$

$$12 + 16 + 18 + 24 = 70$$

- (3) この品物1個の仕入れ値を1とすると、定価は1.6になります。

$$150 \times (1 - 0.3) = 105 \text{ (個)} \quad \dots\dots \text{定価で売れた個数}$$

$$1 \times 150 = 150 \quad \dots\dots 150 \text{ 個の総仕入れ値}$$

$$1.6 \times 105 + 1.6 \div 2 \times (150 - 105) = 204 \quad \dots\dots 150 \text{ 個の売り上げ}$$

よって、 $204 - 150 = 54$ が12960円にあたります。

$$12960 \div 54 = 240 \text{ (円)}$$

- (4) しゅと君がすべての問題に正解したとすると $8 \times 18 = 144$ (点)になります。

正解のものを何も書いていないことにすると8点減り、正解のものを不正解にすると

$8 + 5 = 13$ (点)減るので、この8点と13点を組み合わせて $144 - 52 = 92$ (点)減らす方法を見つければよいことがわかります。

このとき、8も92も4の倍数であることに注目すると、不正解の数が4の倍数であることがわかり、調べる数が減って楽になります。

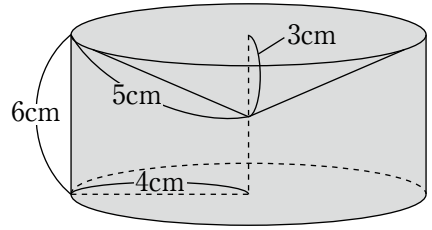
・不正解が0問のとき、 $92 \div 8$  はわりきれないので不可。

・不正解が4問のとき、 $(92 - 13 \times 4) \div 8 = 5$ なので、何も書いていないのは5問。

・不正解が8問のとき、 $13 \times 8 = 104$ となって92をこえるので不可。

以上より、正解した問題数は、 $18 - (4 + 5) = 9$ (問)です。

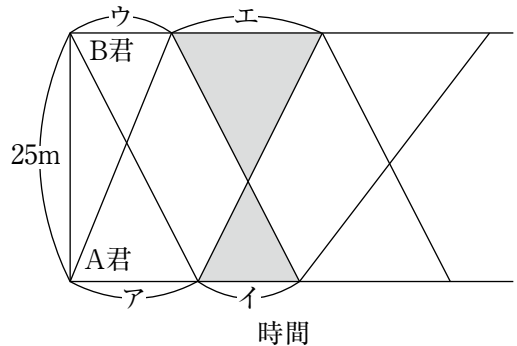
- (5) 通過する部分でできる立体は右のように、  
半径4 cm、高さ6 cmの円柱から、半径4 cm、  
高さ3 cmの円すいをくりぬいた形になります。  
また、円すいの側面は半径5 cmの円を  $\frac{4}{5}$   
( $\frac{\text{底面の円の半径}}{\text{母線}}$ ) にしたおうぎ形となります。



$$4 \times 4 \times 3.14 + 4 \times 2 \times 3.14 \times 6 + 5 \times 5 \times 3.14 \times \frac{4}{5} = 263.76 \text{ (cm}^2\text{)}$$

- ③ 右図のようにウ、エを決めます。

- (1) 同じきよりを進むとき、かかる時間の比は速さの比の逆比になるので、  
ア : ウ = ⑤ : ④です。  
また、 $5 \times 0.8 = 4$ より、A君が25m ~ 50mを泳ぐときの速さはB君と等しいので、ウとイの時間は等しくなります。  
よって、ア : イ = 5 : 4です。



- (2) ウ+エはB君が50mを泳ぐのにかかる時間なので、アの2倍の⑩です。

$$\text{⑩} - \text{④} = \text{⑥} \quad \dots\dots \text{エ}$$

色をつけた2つの三角形は相似で、上と下の三角形の相似比はエ : イ = ⑥ : ④ = 3 : 2です。

$$25 \times \frac{2}{3+2} = 10 \text{ (m)}$$

- (3) B君が75mを泳ぐのにかかる時間は、アの3倍の⑮です。

A君の50m ~ 75mを泳ぐときの速さは25m ~ 50mを泳ぐときの速さの0.8倍です。

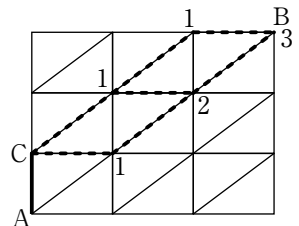
よって、A君が50m ~ 75mを泳ぐときにかかる時間は  $\text{⑤} \div 0.8 = \text{⑥}\frac{1}{4}$  です。

$$\text{④} + \text{⑤} + \text{⑥}\frac{1}{4} - \text{⑮} = \text{①}\frac{1}{4} \quad \dots\dots \text{A君とB君のかかる時間の差}$$

これが1秒にあたるので、 $\text{①} = 1 \div \frac{1}{4} = 4 \text{ (秒)}$ です。

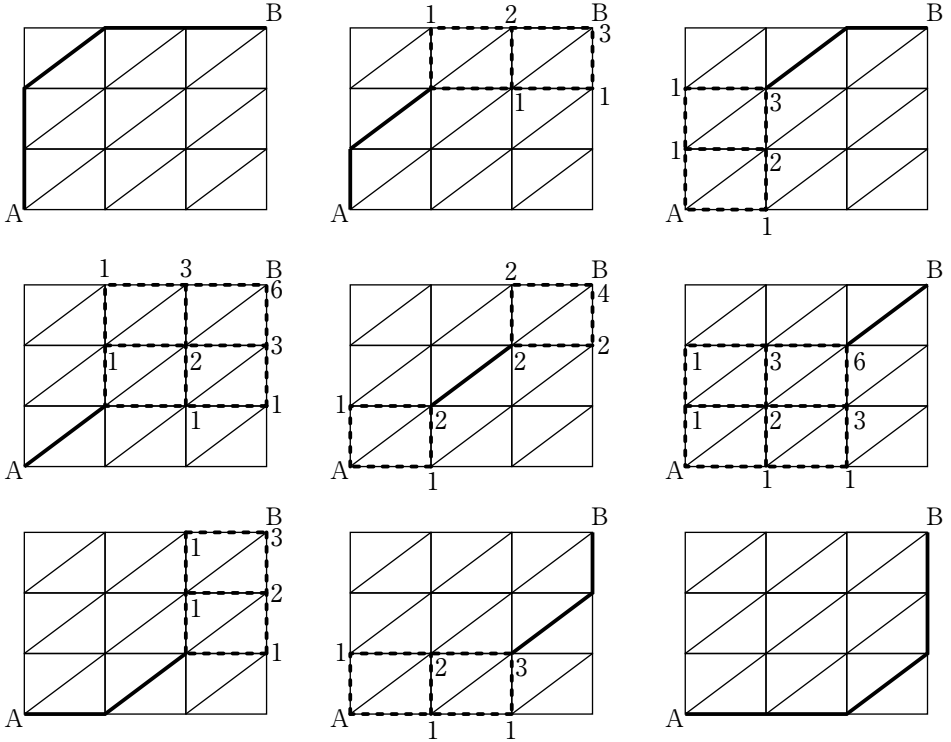
$$25 \div (4 \times 5) = 1.25 \text{ (m/秒)}$$

- ④ (1)  $17 = 5 + 5 + 4 + 3$ なので、3 cmの線を1回、4 cmの線を1回、5 cmの線を2回通って点Bまで進むこととなります。AからCまで進むときに3 cmの線を通るので、CからBへの進み方は右図の点線ようになります。よって3通りです。



(2)  $19=5+4+4+3+3$ なので、3 cmの線を2回、4 cmの線を2回、5 cmの線を1回通って点Bまで進む進み方が何通りあるかを考えます。

「どの5 cmの線を通るか」で場合分けして調べると以下のようになります。



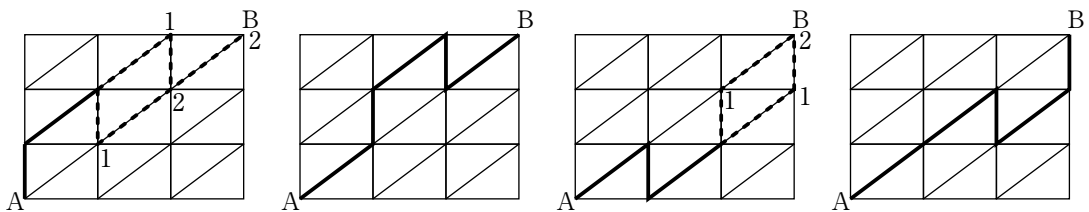
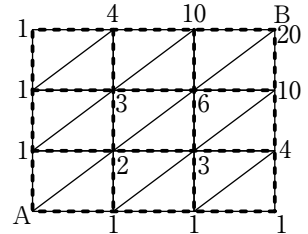
以上より、 $1+3+3+6+4+6+3+3+1=30$ (通り)

(3)  $21=4+4+4+3+3+3$  また、 $21=5+5+5+3+3$ なので、

$\left\{ \begin{array}{l} 3 \text{ cmの線を3回、} 4 \text{ cmの線を3回通ってBまで進む進み方} \cdots \textcircled{7} \\ 5 \text{ cmの線を3回、} 3 \text{ cmの線を下から上に1回、上から下に1回通ってBまで進む進み方} \cdots \textcircled{1} \end{array} \right.$   
 の2種類があります。

$\textcircled{7}$ のとき、進み方は右図の通り20通りあります。

$\textcircled{1}$ のとき、下図のように6通りあります。

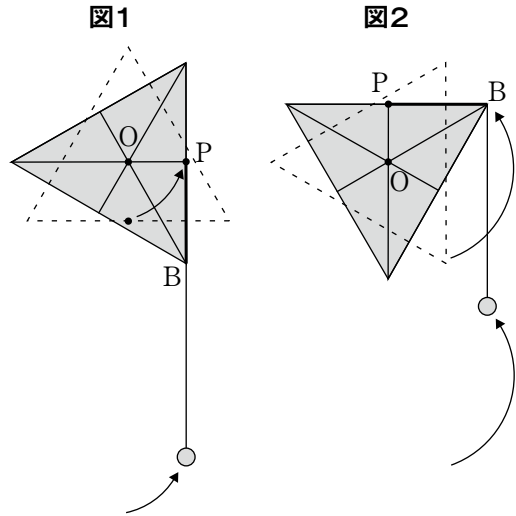


よって、 $20+6=26$ (通り)

- ⑤ (1) 初めに90度回転する間は、図1のように点Pとおもりが同じ動きをします。そして、次の90度回転をする間は、図2のように点Bとおもりが同じ動きをします。

また、三角形BOPは正三角形を半分にした直角三角形なので、OPの長さは $6 \div 2 = 3$ (cm)です。

$$3 \times 2 \times 3.14 \times \frac{90}{360} + 6 \times 2 \times 3.14 \times \frac{90}{360} = 14.13 \text{ (cm)}$$

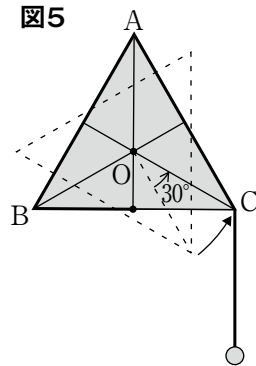
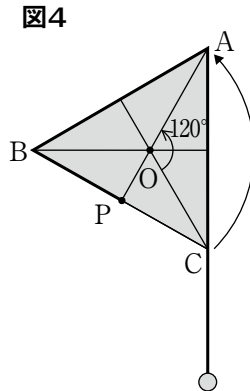
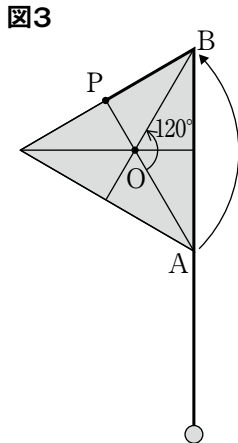


- (2) 上の図1の続きを考えます。

図1の後、点Bとおもりが同じ動きをするのは次の図3までで、このとき、点BはOの周りを120度だけ回転します。

次は図4のようにAとおもりが同じ動きをします。このとき、点AはOの周りを120度だけ回転します。

最後は図5のようにCとおもりが同じ動きをします。三角形ABCがちょうど1回転するまで考えるので、点CはOの周りを $360 - (90 + 120 + 120) = 30$ (度)だけ回転します。



$$3 \times 2 \times 3.14 \times \frac{90}{360} + 6 \times 2 \times 3.14 \times \frac{120}{360} \times 2 + 6 \times 2 \times 3.14 \times \frac{30}{360} = 32.97 \text{ (cm)}$$

⑥ (1)  $(400+600) \times 20 = 20000 \text{ (cm}^3\text{)}$  ……水の体積

$400 \times 10 = 4000 \text{ (cm}^3\text{)}$  ……台とAの底面の間の空気の体積

$(20000+4000) \div (400+600) = 24 \text{ (cm)}$

(2)  $(400+600) \div (27.2-20) = 7200 \text{ (cm}^3\text{)}$  ……上昇した水の体積

この体積は、台と底面の間の空気の体積と等しくなるので、

$400 \times \bullet + 600 \times \blacktriangle = 7200$  という式が立てられます。

$400 \times \bullet + 600 \times \blacktriangle = 7200$  の式全体を200でわると、 $2 \times \bullet + 3 \times \blacktriangle = 36$  となります。

$\bullet + \blacktriangle = 15$  なので、 $3 \times \bullet + 3 \times \blacktriangle = 15 \times 3 = 45$  です。

この2つの式を比べることで、 $\bullet = 45 - 36 = 9$  とわかります。

(3) Aの底面だけが1秒(2cm)動くと、水面は、 $400 \times 2 \div (400+600) = 0.8 \text{ (cm)}$  だけ上がったり下がったりします。

また、Bの底面だけが1秒(3cm)動くと、水面は、 $600 \times 3 \div (400+600) = 1.8 \text{ (cm)}$  だけ上がったり下がったりします。

これらをふまえて水面の上がり下がり方を表にまとめると次のようになり、表のたて線が波線になっている所で水面までの高さが24cmになります。

時間 (秒後)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
Aによる 変化(cm)	+0.8	+0.8	+0.8	+0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	+0.8	+0.8	+0.8	+0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8
Bによる 変化(cm)	+1.8	+1.8	+1.8	-1.8	-1.8	-1.8	+1.8	+1.8	+1.8	-1.8	-1.8	-1.8	+1.8	+1.8	+1.8	-1.8
水面までの 高さ(cm)	22.6	25.2	27.8	26.8	24.2	21.6	22.6	23.6	26.2	25.2	24.2	23.2	24.2	25.2	26.2	23.6

本来のA、Bの底面の動き方の周期は24秒(8と6の最小公倍数)ですが、表を見ると、12秒後を境にして水面の変化が逆になっているため、12秒後までを調べれば水面までの高さが24cmになっている回数がわかります。

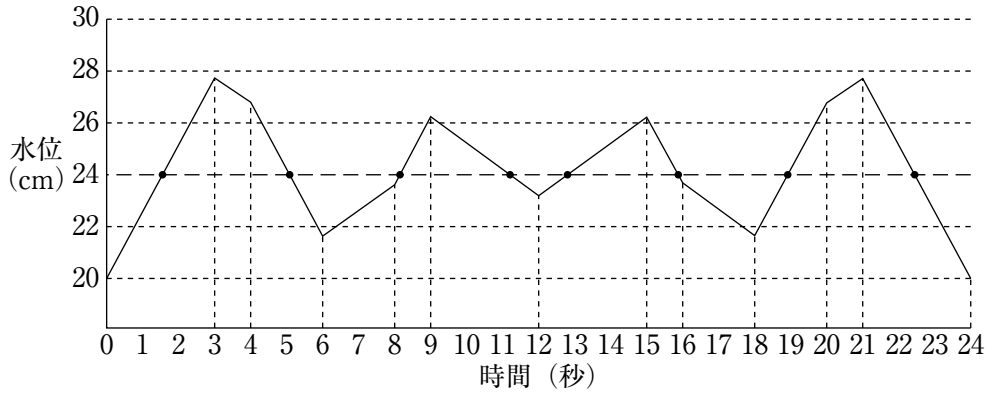
$4 \times 2 = 8 \text{ (回)}$  ……1周期の中で水面までの高さが24cmになる回数

$2018 \div 24 = 84 \text{ (周期) 余り} 2 \text{ (秒)}$  ……周期の数と余りの時間

余りの2秒の間にも水面までの高さが24cmになっていることが1回あるので、求める回数は、 $8 \times 84 + 1 = 673 \text{ (回)}$  です。

(参考)

水面までの高さが変化するようにグラフに表すと下のようになり、やはり12秒後を境にしてグラフが左右対称になっていることがわかります。





# 小学6年 社会 — 解答と解説

## 1

問1			
皇	室	典	範

21

(例)	問2
2015年に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたから。	

22

問3		
地方公共団体	(が制定する)	条例

(完答) 23

問4			問5					
(国名)	南スーダン	(記号)	エ	1	(A群)	ア	(B群)	ク

(完答) 24

25

26

問5							
2	(1)	イ・カ	(2)	① (岸信介)	オ	(吉田茂)	イ

(完答) 27

(完答) 28

問5									
②	イ	3	(1)	ア・オ・ク	(2)	(記号)	エ	生存	(権)

29

(完答) 30

(完答) 31

## 2

問1	問2
3.6 (両)	ウ

32

33

問3	
莊園からの収入	日宋貿易の収入

34

35

問4	問5	問6
イ・ウ	イ・オ・キ	ウ・エ・オ
(完答) 36	(完答) 37	(完答) 38

問7	問8	問9	問10
B・D	イ、ウ、エ、キ	ウ	ウ
(完答) 39	(完答) 40	41	42

問11					
3 番 目	カ	6 番 目	キ	9 番 目	イ
(完答) 43					

**3**

問1	問2
2017 (年) 12 (月) 31 (日の) 午前10 (時)	エ、キ
(完答) 44	(完答) 45

(例)	問3
年少人口の減少による、生産年齢人口の減少、高齢化が進むから。	
46	

問4	問5	問6
インド	エ	エ
47	48	49

(計100点)

- ① 問2、問5・2(1)、(2)①、3(1)、(2)、② 問1、問4～8、
- ③ 問2、問3……各4点
- 他……各3点

【解 説】

①

**問1** 皇室典範<sup>てんぽん</sup>とは、皇位<sup>けいしう</sup>の継承<sup>けいしう</sup>や皇族の範囲<sup>はんい</sup>など、皇室に関する事項<sup>じこう</sup>を規定した法律<sup>りぽう</sup>です。日本国憲法<sup>けんぽう</sup>の第2条で「皇位は、世襲<sup>せしゅう</sup>のものであって、国会の議決した皇室典範<sup>てんぽん</sup>の定めるところにより、これを継承<sup>けいしう</sup>する」と規定している<sup>じこう</sup>ので、特例法の制定<sup>ていれいぽう</sup>だけでなく、皇室典範<sup>てんぽん</sup>に付則<sup>ふそく</sup>を設けることになった<sup>しこう</sup>のです。また、皇室典範<sup>てんぽん</sup>の第1条で「皇位は、皇統<sup>こうとう</sup>に属する男系の男子<sup>なんけい</sup>がこれを継承<sup>けいしう</sup>する」とあるので、皇統<sup>こうとう</sup>に属する男子<sup>なんけい</sup>がいなくなった<sup>しこう</sup>ときのことを考え、女性宮家<sup>にょせいみやけ</sup>の創設<sup>そうせつ</sup>を検討<sup>けんけん</sup>する動きもみられました。

**問2** 2016年に行われた選挙<sup>せんきょ</sup>は、2015年の「公職選挙法改正<sup>こうしやくせんきょぽう</sup>」による初めての選挙<sup>せんきょ</sup>になります。このとき、「満20歳以上のすべての男女<sup>なんにょ</sup>」から「満18歳以上のすべての男女<sup>なんにょ</sup>」に選挙権<sup>せんきょけん</sup>年齢<sup>ねんれい</sup>が引き下げられました。ですから、有権者数<sup>ゆうけんしあず</sup>が大幅に増加<sup>ぞうか</sup>したのです。この問題<sup>もんだい</sup>では、①2016年に行われた衆議院議員選挙<sup>しゆぎいんぎいんせんきょ</sup>が2014年のそれに比べ、有権者<sup>ゆうけんしあ</sup>が220万人以上増加<sup>ぞうか</sup>した理由<sup>りゆう</sup>を正しく説明<sup>せつめい</sup>しているかどうか、②①に過不足<sup>かふそく</sup>がないかどうか、③表記<sup>ひょうじ</sup>や表現<sup>ひょうげん</sup>に誤り<sup>ご</sup>がないかどうかを中心に<sup>しん</sup>見<sup>み</sup>ています。

**問3** 地方公共団体<sup>ちほうこうこうたい</sup>が制定<sup>せいど</sup>する条例<sup>じょうれい</sup>は、憲法<sup>けんぽう</sup>第94条<sup>だいじゅうよんじょう</sup>で「法律<sup>りぽう</sup>の範囲<sup>はんい</sup>内で制定<sup>せいど</sup>することができる<sup>しこう</sup>」と規定<sup>きぎん</sup>されているので、条例<sup>じょうれい</sup>は「地方公共団体<sup>ちほうこうこうたい</sup>が制定<sup>せいど</sup>する自主<sup>しゆし</sup>的な法規<sup>ぽうき</sup>」という見方<sup>けんぽう</sup>ができる<sup>しこう</sup>のです。ま

た内閣<sup>ないかく</sup>の出す命令<sup>めいれい</sup>である「政令<sup>せいれい</sup>」や省<sup>しやう</sup>の出す命令<sup>めいれい</sup>である「省令<sup>しやうれい</sup>」などもこの例<sup>れい</sup>にあてはまる<sup>しこう</sup>ので、これらを解答<sup>かいだ</sup>しても正解<sup>せいげ</sup>となります。

**問4** 南スーダン<sup>なんすーだん</sup>（正式<sup>せいし</sup>には南スーダン共和国<sup>なんすーだんこわうこく</sup>）は、2011年7月にスーダン共和国<sup>すーだんこわうこく</sup>から独立<sup>どくりつ</sup>しました。日本<sup>にっぽん</sup>は同年11月より道路<sup>だうぢう</sup>等のインフラ整備<sup>せいび</sup>などを目的<sup>もく</sup>として自衛隊<sup>じえいたい</sup>をPKO<sup>ぱくお</sup>に派遣<sup>はけん</sup>しています。なお、地図<sup>ちず</sup>のAはエチオピア<sup>えちおぴあ</sup>（コーヒーの原産<sup>げんさん</sup>国<sup>こく</sup>）、Iはケニア<sup>けにあ</sup>（赤道<sup>せきだう</sup>直下<sup>ちくか</sup>に位置<sup>いち</sup>し、野生動物<sup>やせいどうぶつ</sup>の保護<sup>ほご</sup>で知られ、首都<sup>しゆと</sup>のナイロビ<sup>ないろび</sup>には国連環境計画<sup>こくれんかんげいけいかく</sup>：UNEPの本部<sup>ほんぶ</sup>が置かれて<sup>お</sup>います)、Uはタンザニア<sup>たんざにあ</sup>を、それぞれ示<sup>し</sup>しています。

**問5** 1 A群<sup>ぐん</sup>：リンカーン大統領<sup>りんかんとくたいりやう</sup>が1863年<sup>ねん</sup>（日本<sup>にっぽん</sup>では、薩英戦争<sup>さつえいせんそう</sup>がおこった年<sup>ねん</sup>）に南北戦争<sup>なんぼくせんそう</sup>の激戦地<sup>げきせんち</sup>であるゲティスバーグ<sup>げていすばーぐ</sup>で述べたこの言葉<sup>ことば</sup>は、民主主義<sup>みんしゆしゆぎ</sup>を言い表した<sup>いひあらわ</sup>したものとして知られて<sup>し</sup>います。なお、Iのウィルソン大統領<sup>ういるそんとくたいりやう</sup>は国際連盟<sup>こくさいれんめい</sup>の設立<sup>せつり</sup>に尽力<sup>じんりよく</sup>し、Uのフランクリン＝ルーズベルト<sup>ふらんくりん＝るおずべると</sup>大統領<sup>たいりやう</sup>は世界恐慌<sup>せかいきやう</sup>後の経済<sup>けいぎ</sup>立て直し政策<sup>せいさく</sup>（ニューディール政策<sup>にゅーでいあるせいさく</sup>）を行った他、第二次世界大戦<sup>だいにせかいだいせん</sup>の終結<sup>しゆうけつ</sup>に力を尽く<sup>つ</sup>し、Eのケネディ大統領<sup>けねでいとくたいりやう</sup>は「キューバ危機<sup>きゅうばくき</sup>」を回避<sup>かいひ</sup>したことで知られて<sup>し</sup>います。

B群<sup>ぐん</sup>：アメリカは共和党<sup>あめりかこわうたう</sup>（セオドア＝ルーズベルト<sup>せおどあ＝るおずべると</sup>やブッシュ父子<sup>ぶししうふち</sup>などの各大統領<sup>こくだいりやう</sup>が出身<sup>しゆしん</sup>）と民主党<sup>みんしゆたう</sup>（ウィルソン<sup>ういるそん</sup>やフランクリン＝ルーズベルト<sup>ふらんくりん＝るおずべると</sup>、ケネディ<sup>けねでい</sup>、クリントン<sup>くりんとん</sup>、オバマ<sup>おばま</sup>などの各大統領<sup>こくだいりやう</sup>が出身<sup>しゆしん</sup>）の二大政党制<sup>にだいていしやうせい</sup>をとっています。なお、保

守党と労働党はイギリスの政党で、現在のメイ首相（女性）は保守党に属しています。

2 (1) ア：大日本帝国憲法下での内閣総理大臣は「同輩中の主席（仲間うちを中心）」といった存在であり、大きな権限はもたされていませんでした。

ウ：緊急集会ではなく「協議会（両院協議会）」が開かれます（憲法第67条②）。

エ：30日以内ではなく10日以内です（憲法第67条②）。

オ：内閣総理大臣の任期は法律で定められていません。

キ：3分の2以上ではなく、過半数です（憲法第68条①）。

ク：大日本帝国憲法下では天皇に軍隊の最高指揮権（統帥権）が与えられていました（第11条）が、自衛隊の最高指揮監督権は防衛大臣ではなく、内閣総理大臣に与えられています（自衛隊法7条）。

(2) ① アは鈴木貫太郎、ウは片山哲、エは鳩山一郎、カは池田勇人、キは佐藤栄作（岸信介の実弟）、クは田中角栄、ケは福田赳夫を、それぞれ説明しています。

② 桂太郎は長州藩の出身で、明治30～40年代、公家出身の西園寺公望と交互に内閣を組織し、「桂園時代」と呼ばれました。

3 (1) ア：弁護士は、依頼をうけて法律事務を処理したり、法律相談にのったりする専門職です。国家資格である司法試験に受かった人などがなれますが、

弁護士は公務員ではありません。

オ：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とはインターネットを介して互いに交流するサービスをいうので、ラインやツイッターなどの書き込みが炎上するのは憲法と関係がなく、自己責任となります。憲法が保障している「通信の秘密」とは封をしてある手紙や電話などの通信の内容が、他人や公の機関によって見られたり聞かれたりしないことをさしています。

ク：憲法が保障している義務教育とは親が子どもに必ず受けさせなければならない教育のことをいい、小学校と中学校にあたります。したがって、高等学校は含まれません。

(2) 憲法第25条の生存権をめぐっておこなわれたこの裁判は「朝日訴訟」として知られており、裁判所は「憲法の問題は生じない」と判断しましたが、その後、生活保護費の支給金額が増額されるなど、生存権保護の改善に大きな影響をおよぼしました。なお、生存権は社会権のひとつですが、憲法第25条をめぐっての裁判ですので、解答は「生存権」のみとします。

## ②

問1  $43\text{匁} \times 5\text{(枚)} = 215\text{匁}$ ですので、これを60匁で割ると3.5833…となり、小数第2位を四捨五入して3.6両となります。なお、甚兵衛が与えられたほうびには、他の文書には金50両という記述もあり、

正確な金額は現在でもわかっていません。

問2 ア：唯一ではなく、初めての女性の天皇です。女性の天皇は推古天皇のほか、持統天皇や元明天皇、元正天皇など、合計8人（10代）います。

イ：「ワカタケル大王」と刻まれた鉄剣が出土したのは、埼玉県にある稲荷山古墳です。

エ：憲法十七条（十七条の憲法）は国民に出されたものではなく、役人の心構えとして出されました。

オ：全国に国分寺を建立することを命じたのは、奈良時代の聖武天皇です。

カ：「日出づる処の天子」とは聖徳太子ではなく、推古天皇です。

キ：正倉院は東大寺の境内にあり、聖武天皇の遺品など数千点がおさめられています。

問3 日宋貿易は、すぐ思いついたのではないのでしょうか。もうひとつの収入源としては、荘園からの収入があります。当時の平氏は全国の半数を超える国を支配し、500を超える荘園を保有していたので、この荘園からの税（租）が大きな収入源となっていたのです。

問4 御家人は元寇がおこった際に戦闘にかりだされ、「神風」が吹いたこともあって元軍を追い返すことに成功しました。しかし、追い返しただけであり、領土が増えたわけではないので、幕府は十分な恩賞を与えることができなかったのです。竹崎季長が「蒙古襲来絵巻（絵詞）」を描かせたのも、自分の活躍を子孫に伝

える目的のほか、恩賞を期待してのことだったのかもしれない。また鎌倉時代は、女性の地位も比較的高く男性と同じく財産も分割して相続されたため、次第に相続される土地が細分化し御家人の窮乏をまねくことになりました。そのため鎌倉時代後半になると女子や嫡子（家の跡継ぎをする子）以外の男性の相続権は次第に失われ、嫡子が単独に相続していくことになります。

問5 ア：細川勝元は執権（鎌倉時代、政所と侍所の長官を兼ねた地位で、この地位についた北条氏はのちに幕府の実権を握りました）ではなく、将軍を補佐する管領でした。なお、京都の警備などにあたった侍所の長官は「所司（または頭人）」と呼ばれました。

ウ：「今こそ、将軍のご恩にむくいる時である」という意味の演説は、承久の乱（1221年）が起こったときに、北条政子が行ったものです。

エ：天皇が吉野に逃れ、京都に新たな天皇がたてられて二つの朝廷が争うようになったということがらは、室町時代初期の南北朝時代にあたります。

カ：銀閣の下層は書院造、上層は禅宗様という建築様式となっています。寝殿造は、平安時代に貴族の住宅にみられました。

問6 ア：豊臣秀吉が明智光秀をやぶった戦いは、長篠の戦いではなく、「山崎の戦い」です。長篠の戦いは1575年に織田信長・徳川家康連合軍が、現在の愛知

県東部辺り<sup>たけだ かつより</sup>で武田勝頼軍をやぶった戦いをいいます。

イ：武家の最高の地位は「征夷大將軍」であり、太政大臣は貴族の最高の地位です。

カ：1592年の出兵は文永の役ではなく、「文祿の役」です。文永の役は1274年に行われた、モンゴル軍の襲来（元寇）の最初の戦いをいいます。

問7 Bは1639年、Dは1641年です。ちなみにAは1635年、Cは1613年のことでした。

問8 イ：公事方御定書は大岡忠相（越前守）<sup>くじかた おきだめがき おおおかただすけ えちぜんのかみ</sup>などが編纂にあたり、1742年に完成しました。したがって、享保の改革で行われたことです。

ウ：上げ米は1722年に出された（1730年廃止）もので、やはり享保の改革で行われたことです。

エ：上知（地）令は1843年に老中・水野忠邦<sup>みづのただくに</sup>が出したもので、天保の改革で行われたことです。この命令は大名や旗本からの反対が多く、失敗に終わりました。

キ：長崎新令（海舶互市新例・正徳新令）<sup>ながさきしんれい かいほくごししんれい しょうとくしんれい</sup>は新井白石の立案<sup>あらいはくせき</sup>によって1715年に出されたもので、7代將軍・徳川家継のときでした。

問9 ア：1792年のできごとですが、事件というほどのものでもありません。

イ：1808年のフェートン号事件を説明しています。

エ：1828年のシーボルト事件を説明しています。

オ：1811年のグローウニン事件を説明しています。

問10 西郷隆盛は岩倉遣外使節には同行せず、大隈重信や板垣退助などとともに留守政府をあずかっていました。なお、岩倉遣外使節に同行したのは、大久保利通や木戸孝允、伊藤博文などで、彼らはいずれも征韓論に反対する立場をとりました。

問11 特に1945年（昭和20年）のできごとが多かったので、むずかしかったのではないのでしょうか。ア（1945年3月10日）、イ（1945年8月15日）、ウ（1938年4月）、エ（1945年8月9日）、オ（1941年12月8日）、カ（1940年9月）、キ（1945年4月1日）、ク（1939年9月）、ケ（1945年8月6日）ですので、これを並びかえると「ウ→ク→カ→オ→ア→キ→ケ→エ→イ」となります。

③

問1 日本は東経135度、ニューヨークは西経75度を標準時子午線としているので、 $(135+75) \div 15 = 14$ 時間の時間差であることがわかります。日付変更線から日本の方が早く時間がすすんでいることになるので、ニューヨークは日本の14時間前であることがわかるのです。

問2 エ：世界の60%の人が文中にある言語を使用していないことになるので、 $74 \times 0.6 = 44.4$ （億人）が正解となります。

キ：世界の47%がインターネットを利

用しているので、 $74億 \times 0.47 = 34.78$  (億人) が正解となります。

**問3** 1970年と2017年のグラフを比べると、2017年の年少人口の割合が大きく減少していることがわかります。つまり、将来の生産年齢人口の減少、高齢化が進むことが予想されます。このような理由から、「一人っ子政策」を廃止したと考えられます。この問題では、①2つのグラフを参考にして、一人っ子政策を廃止し、二人っ子政策を発表した理由を正しく説明しているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表記や表現に誤りがないかどうかを中心に見ています。

**問4** 人口密度は人口÷面積で出せるので、人口が多く面積が小さければ、人口密度は高くなります。表からは一目でバングラディッシュが高い(1100人)ことが分かり、ロシアや中国、アメリカ、ブラジルなどは面積の広大さから人口密度が低いことがわかります。また、日本の面積と人口を基準にすると、メキシコやナイジェリア、パキスタン、インドネシアも人口密度が低いことがわかるのではないのでしょうか。日本とインドを比較すると、インドの面積は日本の10倍未満ですが、人口は日本の10倍以上であり、インドの人口密度は日本よりも高いことがわかります(インドの人口密度は404人です)。ちなみに、中国は144人、アメリカは33人、インドネシアは136人、ブラジルは25人、パキスタンは242人、ナイジェリアは202人、ロシアは8人、

メキシコは65人となっています。

**問5 ア**：1880年は西南戦争の3年後にあたりますが、この時期には九州も落ち着き、これらの県に移住する人は多くありませんでした。

イ：韓国併合は1910年のできごとです。

ウ：東京で大震災が発生するというような指摘は、ありませんでした。ちなみに、関東大震災は1923年のできごとです。

オ：米騒動は1918年のできごとです。

※1880年(明治13年)の東京の人口は約96万人しかおらず、島根県(約104万人)や山口県(約118万人)などより少ない人口でした。

**問6** 国籍別在留外国人数は、中国、韓国、フィリピンの順(%は、問題の表を参照)で、次いでブラジル(7.8%)、ベトナム(6.6%)、ネパール(2.5%)となっており、近年はベトナム人とネパール人の増加が目立っています。





# 小学6年 理科 — 解答と解説

**1**

(1)	(2)	(3)	(4)
工	ア	ひまわり	秒速 3.1 km
21	22	23	24

(5)	(6)	(7)	(8)
77 度	0.8 km	6 ℃	6 km
25	26	27	28

(9)	(10)
工	イ
29	30

(11)									
①	B	②	×	③	○	④	A	⑤	×
31	32	33	34	35					

(例)	(12)								
山	地	や	高	地	の	よ	う	な	標
高	の	高	い	場	所	で	は	気	温
が	低	く	な	る	た	め	。		
									30
									36

(配点) ①(7)(8)、②(2)、(4)、③(3)(4)(5)C……各4点

①(4)(12)、②(5)……各5点

他各3点

計100点

**2**

(1)	(例)	(2)
青色	ろ	うとの先をビーカー
	の	のかべにつけていない
	こと。	

(3)	(4)	(5)
62 mL	3.8 mL	380 ppm

**3**

(1)	(2)	(3)	(4)
アルキメデスの原理	2.6 cm	3 cm	2 cm

(5)			(6)
A	15	B	7
		C	17
			200 g

【解 説】

① 地球環境と生物についての問題

- (1) 890kmは890000mにあたり、1時間は3600秒になるので、時速890kmを秒速になおすと、 $890000 \div 3600 = 247.2\cdots$ より、およそ247.2mとなります。よって、エが答えとなります。
- (2) 気温が摂氏15度のときに、音の伝わる速さは秒速340mであることがわかっているの、飛行機の飛んでいる速さの秒速247.2mは、 $247.2 \div 340 \times 100 = 72.7$ より、およそ72.7%にあたります。したがって、答えはアになります。
- (3) 人工衛星は気象観測だけでなく、テレビの中継や電話などの通信を目的としたものや、軍事目的のものなど、さまざまな用途で利用されています。その中でも、赤道上空の東経140度にあって、日本とその周辺の雲を撮影することによって、天気予報や災害の予知などに役立っているものが、気象衛星『ひまわり』です。
- (4) 気象衛星『ひまわり』が飛んでいるのは、赤道上空36000kmの高さなので、地球の中心からは、 $6400 + 36000 = 42400$  (km)になり、『ひまわり』が飛んでいる円周の長さは、 $42400 \times 2 \times 3.14 = 266272$  (km)と求められます。これだけの距離を『ひまわり』は地球と同じ24時間で飛んでいることから、その秒速は、 $266272 \div 24 \div 3600 = 3.08\cdots$ より、およそ3.1 (km)になります。
- (5) 摂氏温度は、水がこおる温度を摂氏0度、水が沸とうする温度を摂氏100度として、その間を100等分にしたものが1

- 度になります。摂氏25度は、この100等分したうちの、 $25 \div 100 = \frac{1}{4}$ にあたることから、水がこおる温度と沸とうする温度の間を180等分した華氏温度では、 $180 \times \frac{1}{4} = 45$  (度)だけ水がこおる温度より高いということがわかります。したがって、摂氏25度を華氏温度に換算すると、 $32 + 45 = 77$ より、77 (度)になります。
- (6) 『空気のかたまり』の温度が12℃になるまでは水滴ができていないことから、1km上昇するにつれて10℃ずつ温度が下がっているはずですが、したがって、地面で20℃の空気が12℃まで8℃だけ温度が下がったのは、 $1 \times \frac{8}{10} = 0.8$  (km)上昇していたときだとわかります。
- (7) 『空気のかたまり』がさらに上昇して12℃より温度が下がると、水蒸気が小さな水滴へと変化して雲ができていったことから、(6)の答えとなる0.8kmから2kmまで空気が上昇する間は、1kmにつき5℃ずつしか温度は下がらないはずですが、このことから地上2kmの高さまで上昇した『空気のかたまり』の温度は、 $5 \times \frac{2-0.8}{1} = 6$  (℃)だけさらに温度が下がって、 $12 - 6 = 6$  (℃)と求められます。
- (8) (7)により、地上2kmの高さでは『空気のかたまり』の温度が6℃になっていて、まわりの空気の温度は表によって0℃であることがわかります。この状態から『空気のかたまり』が雲をつくりながら1km上昇するごとに5℃ずつ温度が下がっていく一方で、まわりの空気は表によって1km上昇するごとに3.5℃下がっ

ていくとわかります。すると、『空気のかたまり』とまわりの空気との温度の差は1 km上昇するにつれて、 $5 - 3.5 = 1.5$  (°C) ずつ2つの温度の差が縮まっていくため、 $6 \div 1.5 = 4$  (km) だけさらに上昇したとき2つの温度が等しくなり、『空気のかたまり』の上昇が止まると考えられます。したがって、 $2 + 4 = \underline{6}$  (km) が答えとなります。

(9) エのように、葉のまわりに細かい『ギザギザ』が見られるものがサクラの葉です。アはエンドウの、イはアサガオの、ウはタンポポの葉です。

(10) イのように、先の方に小さな切れ目がある5枚の離れた花びら(花弁)を持ち、花の中には1本のめしべとたくさんのおしべが見られるものがサクラの花です。アはエンドウの、イはアサガオの、エはタンポポの1つの花です。

(11) ①合弁花とは、花びらが1つにくっついている花のことで、サクラのように5枚の花びらが1枚ずつ離れているものを離弁花といいます。タンポポは、(10)のエのような小さく細長い花がたくさん集まって咲いているので、花びらがたくさんあるのではなく、合弁花に分類されています。②サクラやタンポポなど、目立つ色の花びらを持つ大きい植物は、虫の体についた花粉が花から花へと運ばれていくことから、虫ばい花とよばれています。一方、イネやトウモロコシ、マツヤスギといった植物は、風によって花粉が飛ばされて受粉することから、風ばい花とよばれています。③サクラとタ

ンポポはともに、1つの花の中にめしべが1本あります。④サクラやバラ、ウメなどバラ科の花には10本またはたくさんのおしべがありますが、タンポポの花にあるおしべは5本です。⑤サクラとタンポポはともに1つの花の中におしべとめしべの両方がありますが、ヘチマやツルレイシ(ゴーヤー)などのウリ科の植物やトウモロコシは、めしべのないお花とおしべのないめ花といった2種類の花が咲きます。

(12) サクラの開花には、サクラの花芽が休眠するための寒い期間と、花芽が開き始める一定以上の温度が必要になります。同じ緯度の場所で太陽高度が変わらなくても、山地や高地のような標高の高い場所では気温が低くなるため、サクラの開花がおそくなってしまい、開花する日が同じになる地点を結んだ線は大きく曲がるようなものになります。この問題では、①標高が高い場所では気温が低くなることが正しく書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

## ② 空気中の二酸化炭素についての問題

(1) 水溶液にBTB溶液を数滴加えると、酸性のときに黄色、中性のときに緑色、アルカリ性のときに青色になります。問題文中に、水酸化バリウム水溶液はアルカリ性の水溶液だと述べられていることから、青色が答えになります。

(2) 図に描かれたような過の方法では、

ろうとの先がビーカーの内側のかべについていないため、ろうとの先で大きなしずくができるまでろ過した液がたれてこなくなってしまう、ろ過をするのにとても長い時間がかかるようになります。この問題では、①図の誤りを正しく指摘しているかどうか、②①に過不足がなく、表記や表現に誤りがないかどうかを中心に見ています。

(3) 手順1で、うすい塩酸20mLと水酸化バリウム水溶液10mLをまぜたときに、BTB溶液が緑色となって中性となったことから(この状態を完全中和という)、 $124 \div 20 = 6.2$ (倍)となる124mLのうすい塩酸を完全に中和させるためには、 $10 \times 6.2 = 62$ (mL)の水酸化バリウム水溶液が必要となります。

(4) 手順3でビニル袋内の<sup>ぶくろ</sup>二酸化炭素と中和されずにあまっていた水酸化バリウム水溶液は、手順5によって62mLであったことがわかるため、手順3で用いた100mLの水酸化バリウム水溶液のうち、ビニル袋内の二酸化炭素との中和に使われた水酸化バリウム水溶液は、 $100 - 62 = 38$ (mL)になります。手順2により、水酸化バリウム水溶液10mLと気体の二酸化炭素1mLが完全中和することから考えて、ビニル袋内の空気10L中にふくまれていた二酸化炭素の量は、 $1 \times \frac{38}{10} = 3.8$ (mL)だとわかります。

(5) (4)で求めた3.8mLの二酸化炭素が10L(=10000mL)の空気中にふくまれていたことから、その割合は、 $3.8 \div 10000 = \frac{3.8}{10000} = \frac{380}{1000000}$ より、380ppmと

なります。

### ③ 物体にはたらく浮力についての問題

(1) 問題文にあるような、<sup>ふりょく</sup>浮力の大きさを調べる方法をアルキメデスの原理とよんでいます。アルキメデスは紀元前の古代ギリシャ時代に活やくした科学者で、『この原理』を発見したことでも有名です。

(2) アルキメデスの原理により、60gの重さの物体を浮かべるためには、60gの水を押し出せばよいとわかります。1cm<sup>3</sup>の水は1gなので、物体が水中にしずんだ部分の体積は60cm<sup>3</sup>となり、水面上に出ている部分の長さは、 $(125 - 60) \div 25 = 2.6$ (cm)と求められます。

(3) (2)と同様に、60gの食塩水を押し出せば物体は浮きますが、1cm<sup>3</sup>の食塩水は1.2gなので、物体がしずんだ部分の体積は、 $60 \div 1.2 = 50$ (cm<sup>3</sup>)になります。したがって、水面上に出ている部分の長さは、 $(125 - 50) \div 25 = 3$ (cm)と求められます。

(4) 図3の物体の体積は、 $5 \times 5 \times 8 = 200$ (cm<sup>3</sup>)で、これをすべて水中にしずめると、200cm<sup>3</sup>の水が押し出されて、 $200 \div 100 = 2$ (cm)だけ水面が上がります。

(5) Aの値は、ばねに250gのおもりをつるしたときの長さになるので、 $5 + 4 \times \frac{250}{100} = 15$ になります。物体が水の中にしずんでいくと、押し出される水の量が増えて浮力が大きくなるので、すべての物体が水中にしずむまでは、少しずつばねの長さが短くなります。このことから、Bの値は200cm<sup>3</sup>の直方体がすべて

しずむことによって200gの浮力を受けて、 $250 - 200 = 50$ (g)の重さだけがばねにかかった状態になるので、ばねの長さは  $5 + 4 \times \frac{50}{100} = 7$  となります。Cの値は、物体のすべてがしずむまで手を下げた長さになります。グラフにより、3cm手を下げたときに直方体がしずみ始めたことから、最初のビーカーをのせた台から手までの長さは、 $15 + 8 + 3 + 12 = 38$ (cm)となります(下の図1を参照)。さらに、直方体のすべてがしずんだときの手までの長さは、 $7 + 14 = 21$ (cm)となることから(下の図2を参照)、手を下げ始めてから直方体のすべてがしずむまで下げた長さは、 $38 - 21 = 17$ (cm)となります。

- (6) 物体がすべて水中にしずんで、水が物体を200gの力で押し上げると、その反作用を受けて水は200gの力で押し下げられます。したがって、物体をしずめる

前よりも台ばかりの読みは200g増えていると考えられます。

図1

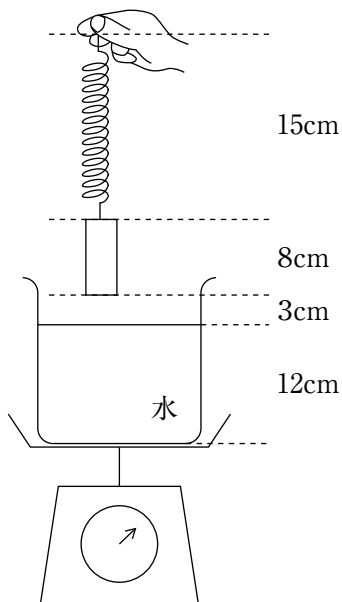
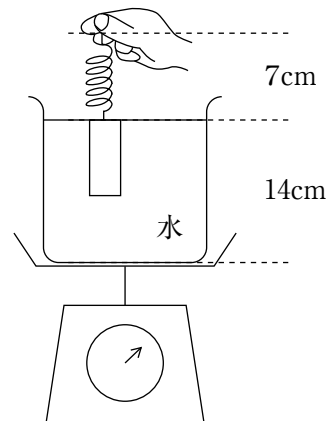


図2



1

問七	問六 (例)			問四	問三 (例)			問二	問一 (例)		
ア	く	な	命	ア	に	人	自	エ	従	い	そ
27	れ	く	令	24	な	間	分	22	う	う	も
問八	る	、	に	問五	り	を	の		こ	え	そ
1	の	ど	よ	理	や	断	信		と	に	も
発揮	だ	の	っ	25	す	罪	じ		が	、	そ
28	ろ	よ	て		い	す	る		で	人	の
2	う	う	む		。	る	正		き	は	命
敬意	と	な	り			よ	義		な	命	令
29	考	条	や			う	を		い	令	が
3	え	件	り			な	掲		と	さ	絶
大損	る	が	相				独		い	れ	対
30	こ	整	手				善		う	て	に
4	と	え	を				的		こ	も	正
	と	ば	従				で		と	し	し
傷		相	わ				攻		。	ば	い
31		手	せ				撃			し	と
5		は	る				的			ば	は
授業		従	の				な			そ	い
32		っ	で				人			れ	え
		て	は				間			に	な
			26				23				21

小学六年 国語 解答と解説

**3**

問二	問一
1	1
㉠	なごり
2	
㉡	2
3	きちよう
㉢	
4	3
㉣	すこ
5	
㉤	4
	ほが
	5
	しぐれ

問九 (例)			
あ	ン	る	教
る	ト	の	育
の	ロ	で	は
だ	ー	は	、
と	ル	な	子
い	さ	く	ど
う	れ	、	も
こ	な	不	を
と	い	条	コ
。	た	理	ン
	め	に	ト
	の	抗	ロ
	カ	う	ー
	を	カ	ル
	授	、	す
	け	た	る
	る	や	た
	た	す	め
	め	く	に
	に	コ	あ

**2**

問四	問三 (例)	問二	問一 (例)
島	る	イ	で
問五	の		使
ア	よ		わ
問六	う		れ
輪	に		の
問七	変		て
エ	化		直
問八	し		哉
ア	し		た
	た		か
	。		ら
			は
	自		に
	分		想
	の		疑
	気		問
	持		を
	ち		感
	を		じ
	伝		た
	え		か
	ら		。
	れ		文

- (配点)
- ① (問一・三・六) 各10点 (問二・七) 各5点 (問四・五・六・八) 各3点 (問七・八) 各3点
  - ② (問一・三) 各10点 (問二・七) 各5点 (問四・五・六・八) 各3点 (問九) 15点
  - ③ 各3点
- 計150点



【解説】

1 苦野一徳の「はじめての哲学的思考」から出題しました。

問一 「その意味で」とは、直前に書かれている「二つの問題」をさします。「一つは、今いったように、そもそもその命令が絶対に正しいものとはいえないということ」であり、そしてもう一つは、「結局人は、命令されてもしばしばそれに従うことができないという点」です。命令自体が正しくなかったり、従うことのできないような命令であれば、絶対的な命令であるとはいえません。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問二 本文のはじめにとりあげられたモーセの十戒は、神が与えたものです。それに対して、カントは「いついかなる時にも絶対に従わなければならない命令……この絶対の命令を人間は理性によって見つけ出すことができるんだと主張して」「定言命法」を打ち立てたのです。すでに神の「命令」があるのに、なお、新しい「定言命法」を打ち立てたわけは「キリスト教がすべてを支配していた当時のヨーロッパにおいて、カントは、それまで神によって定められていた道徳を人間の手に取り戻した。道徳的であるということは、神の命令に従うことじやなく、僕たち自身の理性が見つけ出した道徳法則に自らの意志で従うことにこそある」の部分に説明されています。人間が自分自身で戒律を作り、その戒律を守ることができますれば、神の支配から脱することができるといわけです。

問三 本文に「『命令の思想』を持つ人は、時に攻撃的にもなりやすい。自分の信じる正義を掲げて、それに従わない人を断罪するのだ」「正義」を笠に着て他者を傷つける、ひどく独善的な人間なのだ」と説明されています。定言命法も、みなが従わなければ、なんの価値もありません。そこで、定言命法に大きな価値を与えようとする人は、従わない人を攻撃するようになります。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問四 アだけが神から与えられた「命令」に関するものです。ほかのものはすべて、カントの「定言命法」に関するものです。

問五 傍線④の「だから」ということばは、本文の「人は、自分の理性によって絶対的な道徳法則（定言命法）を見つけることができる。そしてそれに、自分の意志で従うことができる」を打ち消す「でも、カントの理想」に反して、人間はいついかなる時も定言命法に従える存在だとはいいたい」ということばを受けています。カントは、人間の理性を重視しすぎるあまり、人間なら、かならず理性に従うはずだと考えたのです。しかし、ルソーは、人間はそのときの気分次第で、定言命法に従ったり、従わなかったりすると説いたので、ルソーに対して、カントの人間観察は一方的すぎるようです。

問六 ここでの「命令の思想」とは、カントの主張した定言命法からもわかるように、いかなる時でも命令には絶対従わなければならないという考え方です。筆者はこのような「命令の思想」ではなく、「より力強い思考」を持つことを主張しています。この「より力強い思考」とは、傍線部の数行後に登場する「条件解明の思考」つまり、どのような条件を整えば相手は従ってくれるかを考えることを表します。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問七 権力などをたのみにしていばることを「笠に着る」といいます。

② 森絵都の「みかづき」から出題しました。

問一 本文に「直哉のセリフとして書かれているそれは、あきらかに平素の彼の語彙ごいにないものだ」、「いよいよべらんめえ口調が極まるに至いたって、一郎はようやくはたと気づいたのだ」。「これは、豊田正子の父ちゃんだ」まで、一郎が、直哉のことがどこからきたのかを考えていることがわかります。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問二 まず、「そう、直哉は正子の綴方つづかたに登場する父親の口ぶ

りを真似ていたのである」に着目しましょう。どうやら直哉は正子のお父さんのセリフが気に入ったようです。そんなようすを見て、一郎は「母親と二人暮らしの直哉が正子パパにある種の父親像を重ねている」のではないかと考えたのです。直哉にとってお父さんとは、そんな存在であってほしかったのでしょうか。

問三 まず、「今の直哉はむさぼるように言葉を吸収していく成長過程にある。べらんめえ口調はその道筋で拾った正子パパからの借りものであり、焦らず長い目で見守ってやれば、遠からずもつと似つかわしい彼自身の言語を獲得できるのではないか」とあります。たしかに直哉は自分のことばで話すことはできません。でも、いまは、正子ちゃんのお父さんの真似をすれば、話ができるようになります。これは大きな変化（進歩）であるといえましょう。直哉の担任の先生も「言葉づかいが多少おかしくても、直哉が自分を表に出しはじめたのを喜んでくださっていた」ようです。直哉がすでに、自分を表に出す方法を身につけたということはあきらかなようです。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

問四 相手からつつけんどんにされることを「とりつく島がない」といいます。

問五 「頭がまわらない」は、動詞＋ない（打消しの助動詞）の結びつきを表します。アは「する」（動詞）＋「ない」（助

動詞)、イは「ない」という形容詞、ウは補助形容詞(形容詞を打ち消す「ない」、エは「きたない」という形容詞です。よって、アです。

問六 程度をさらにはなはだしくすることを「輪をかける」といいます。

問七 いよいよ担任の先生があやまってくれた話になったときには「次の瞬間、直哉はこらえかねたように身をくねらせてニツとした」とあります。直哉は、はやくこのことを言いたくてしかたがなかったのです。うれしくてうれしくて、つい興奮してしまうのでしょうか。

問八 「雨の降る日が続いた」は主語を示し、「の」を「が」に置き換えることができます。㉗は主語を示し、「が」に置き換えることができます。㉘は「母」と「洋子」が同格であることを表します。㉙は下の名詞を修飾します。㉚は「こと」に置き換えることができます。よって、㉗です。

問九 このときに一郎が気づいたことは、この直後に書かれています。「教育は、子どもをコントロールするためにあるんじゃない。不条理に抗う力、たやすくコントロールされないうための力を授けるためにあるんだ——」の部分をもとめると答えになります。この問題では、①正しい答えが書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心にしています。

### ③ 文学史

問二 1は夏目漱石の『坊っちゃん』です。2は森鷗外の『山椒大夫』です。3は鴨長明の『方丈記』です。4は島崎藤村の『夜明け前』です。5は松尾芭蕉の『奥の細道』です。吉田兼好は『徒然草』、紀貫之は『土佐日記』、尾崎紅葉は『金色夜叉』、芥川龍之介は『羅生門』、志賀直哉は『暗夜行路』の作者です。

